

岩手県金融経済概況

1. 概況

県内経済は、引き続き足踏み状態にある。生産面では、輸送用機械や工作機械を中心に、全体としては高水準を維持しているものの、IT関連分野の在庫調整等を背景として電気機械等で操業度がやや低下している。一方、個人消費は、所得環境に捗々しい改善がみられない中、大型小売店の売上等を中心にやや弱めの動きとなっている。また、建設関連では、住宅投資が横這い圏内で推移する一方、公共投資の減少が続いていることから低調に推移している。

2. 最終需要

(1)個人消費

個人消費は、家電や乗用車の販売に一部持ち直しの動きもみられるが、大型小売店では主力の衣料品等を中心に売上げが伸び悩んでいるほか、旅行取扱高も盛り上がり欠けるなど、全体としてみればやや弱めの動きとなっている。

(大型小売店売上高)

百貨店・量販店の売上げは、初売りなど一時的に活況を呈することもあったが、基調としては主力の衣料品や食料品等の動きが鈍く、低調な動きが続いている。

(家電量販店売上高)

家電量販店の売上げは、パソコンの低迷が続いているものの、デジタル家電(薄型テレビ、DVDレコーダー)が販売価格低下に伴い増勢を強めており、全体では持ち直しの動きが続いている。

(乗用車新車登録台数)

12月の乗用車新車登録台数は、新型コンパクトカー等の新車投入効果により、ウェイトの高い小型車を中心に前年を上回り、底堅く推移している。

(旅行取扱高)

旅行取扱高は、海外旅行が持ち直しの傾向にはあるものの、国内旅行が弱めで推移しており、全体としては盛り上がり欠ける動きとなっている。

(2) 住宅投資

12月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲のいずれも前年を下回った。月々の振れは見られるものの、基調的には横這い圏内で推移している。

(3) 公共投資

公共工事請負金額をみると、予算規模の縮小を背景として減少傾向が続いている。

3. 生産動向

生産面では、輸送用機械、設備関連等で高水準の生産を継続している一方、電気機械の一部ではIT関連分野の在庫調整等を背景として操業度が幾分低下している。また、建設関連では引き続き低水準の生産が続いている。

(電気機械)

半導体・電子部品は、なお高水準の生産を続けているが、IT関連の在庫調整等を背景として操業度が幾分低下している。

(輸送用機械)

完成車は、北米向け高級車の輸出に加え国内向け新型車種の受注も好調であることから、また自動車部品でも海外需要が好調であることから、高操業を続けている。

(設備関連)

工作機械では、自動車部品メーカー向けを中心に豊富な受注残を抱え、フル操業を続けている。

(消費関連業種<紙・パ、精密機械>)

紙・パ(段ボール原紙)は、菓子類や飲料品向け需要が好調なことから高水準の生産を続けている。精密機械(時計部品)は、輸出市場における海外メーカーとの競合が見られるものの、底固く推移している。

(建設関連)

線材が、中国、北米向け輸出の好調から高水準の生産を継続しているが、合板、セメントやコンクリート二次製品など多くの品目では、公共投資の減少等を背景として、生産能力をかなり下回る低水準の生産が続いている。

4. 雇用・所得動向

雇用情勢をみると、有効求人倍率(季節調整後)は11月、12月と小幅ながら改善しているが、基調としては横這い圏内の動きとなっている。

一方、所得面をみると、企業は引き続き人件費の抑制に取り組んでおり、全体として捗々しい改善をみていない。

5. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きとなっている。

6. 金融動向

預金は、個人預金が堅調に推移していることから、全体として底固い動きが続いている。

貸出は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移しているが、法人向けが引き続き低迷していることから、全体としては低調に推移している。

以上